

第2回 大阪府立大学 生活支援論：地域Ⅱ演習

地域とリンクする保健活動をめざして

去る6月1日、大阪府立大学 看護学部的生活支援論：地域Ⅱの演習に、E&L・ゆうゆうクラブ・はびきのプレーパークが参加して、地域の環境・福祉・子育て支援の分野について説明しました。学生とスタッフはグループ単位で保健活動のありかたについて話し合いました。スタッフは学生から地域に関心を持って参画する意識を聞いて喜んでいました。今後の保健活動にリンクする地域と大学の連携活動をめざします。

昨年に比べ、格段に良かったと思います。まず、プレーパークの若い方が参加。それと2年目だとリラックスして臨めました。子どもから高齢者までの活動と課題をお伝え出来たと思いました。その中で保健師さんの関わりを考えているとのこと嬉しです。大学と地域の心の通った交流が末永く続くことを願います。 宮本文恵

私は真面目に取り組んでいらっしゃる学生さんの前で話すというのは大変心苦しく、申し訳なく思いました。が、子供を取り巻く現状を知り、少しでも今後に生かしてお役に立てばと思いました。コミュニケーションがますます難しくなる世の中ですがぜひ活躍されるよう祈念します。 長尾恵子

大学が地域に関心を持つと思っていなかった。学生さんたちが何故地域に奉仕を志すのか？昔から「看護婦さんは優しい」というのが定説です。このあふれる人間性が地域に来て下さったのでしょうか？このような取り組み自体に感謝です。単なる授業でなく、地域にリンクする新しい保健活動を期待します。 笹野四郎

まずは色々準備下さいました先生方に深く感謝致します。学生さんが資料やホームページも調べて下さったことにびっくりでした。私の様な主婦の意見も真剣に聞いて下さりとても嬉しかったです。学生さんからの提案も参考にさせて頂き、宅配の方も皆様に喜んで頂けるよう一層努力し頑張りたいと思います。 村上多美子

やや緊張のスタートでしたがテーマが身近なものですぐに学生たちの会話に違和感なく入っていき一安心。「学生さんに望むこと」○新ビオトープも興味に終わらず造成中も現地に足を運び自分の目で確かめ、フェスタなどへ参加して下さい。○将来地域でボランティアの人たちから声をかけられたらE&Lの活動を思いだして地域活動に参加して下さい。 徳田康行

自分探しの生きがい活動
□大阪府立大学のグループワークの中で学生さんより何故ボランティアをしているのですかと質問されました。今は有償ボランティアもあるが弁当代位で無償の方が多い。欧州では刑期の代わりに何日間か、ボランティアする事を義務つけている国もあると聞く。日本も学生たちに働く日を作ってもいいのでは

編 集 雑 記

ないかと思う。修身の時間一時間、ボランティアも一時間作ってはどうかろう。私はボランティアをしようと思ふ気もなく自然に色々のグループに入り、違った考えの人との交流を広めて考えも広がっていった。ボランティアは奉仕活動でなく、自分探しの生きがい活動と思っている。 原田恵美子

保健活動とのリンク

保健活動とのリンクとは、住民の皆様の活動を理解した上で地域の看護職(保健師など)としてどのような活動を行うべきか(例えば地域の皆様が集われるサロンなどの場での健診のPRや生活習慣病予防のお話をする、サロンなどに出向かれない方への保健師の家庭訪問など)について学生が考えることができたとおもっています。 大阪府立大学 和泉准教授



学 生・グループワーク・スタッフ

今回のグループワーク参加ありがとうございました。私達の活動は一事例として捉えて頂いてその地域毎に様々なやり方があるということをお伝えれば良かったかなと思います。今回の授業に参加された方々が地域に寄り添う保健師さんになって頂ければ、多くの地域が輝いてくると思いました。 内山 悠

今回のGワーク大変良かったと思います。お互いの顔が見え、声も届いて発言しやすい環境となり質問に答えながら楽しい時間となりました。ゆうゆうクラブの話を通じて学生の皆さんがボランティアに興味を示して下さい、頼もしく嬉しく思いました。実習生としての活動に期待します。 馬場則子

惣菜調理の一員として初参加しましたが、学生さんが事前に羽曳が丘を廻られ勉強もし司会なども決め、その質問に答えそこから話が広がり、さすが頭の回転も良く最後の感想も各班短時間にちゃんとまとめ感心しました。学生の一人でも将来羽曳が丘に住み地域活動に参加して貰えたらと思いました。 山本紀子

学生さんが熱心に我々に接してくれた。核家族少子高齢化が進み、社会的にも福祉環境が整いつつある今日、若い人も福祉活動への関心が高く、自分がこの年齢頃にこんな事考えたかなーと感心した。大学の性格もあるのでこういう意識を友人知人を通して広め、そして一過性でなく、学習に止まらず今の気持ちを大切に社会や地域活動に活かしてほしいです。 有本孝子

社会活動のあり方を学ぶ

□大阪府立大学からのアンケート調査結果から、高齢者社会の健康維持・生きがい・地域貢献の理念共有などが報告され、羽曳が丘地域の社会活動のあり方を学びました。E&L事業の継続とアンケート報告書が関係機関から評価されました。貴重な報告書ありがとうございました。 西田政弘